会社を支え、社長を補佐する

ナンバー2 養成研修

毎月1回（7時間）・1年間（12回）のセミナー形式

対象者限定の新しい有言実行研修

すぐれたナンバー2のいる会社は、着実に成長していきます。逆にナンバー2に人を得ない会社は、衰退していきます。

中小企業の副社長・専務・常務などの中には、この自覚が欠けている人が少なくありません。同時にこれが経営者の大きな悩みになっています。

ただし、ナンバー2は役職ではありません。幹部でも管理者でもトップを支える意識と行動が備わること、ここに真のナンバー2が生まれます。

社長を表の経営者とすればナンバー2は裏の経営者、二人三脚の伴走者であると同時にさまざまな仕事を一手に引き受ける人です。この研修では、その任務と役割を学びます。社長のものの見方考え方をどう理解するか。社長補佐とは何をどうすることか。その権限と責任とは何か。社長への諫言はどのように行うかを学びます。

こうしたテーマを通して上からは信頼され、下からは尊敬される「本物のナンバー2」を養成していきます。

以上

株式会社アイウィル

会社を支え、社長を補佐する

ナンバー２養成研修

1 ナンバー２養成研修の目的

(1)社長を補佐する本物のナンバー２になります。

(2)社長の不得意を支え補い、社長の得意を引き立てるナンバー２になります。

(3)自分の利害損得は捨て、会社のために社長に進言や諫言のできるナンバー２になります。

2 ナンバー２養成研修の対象者

- 副社長、専務、常務、取締役などの経営幹部
- 将来ナンバー２になる見込みのある若手社員の育成
- 仕事の練達者としてだけでなくナンバー２としての意識と行動を求める
- 取締役候補、中間管理者

3 研修内容《1回目》

(1)研修をどのように進めていくかのオリエンテーションを実施します。

(2)社長と自分、社長と社員、自分と部下の**人間関係や相互理解における問題点を抽出**します。
ディスカッション形式で進行し、より深く掘り下げた課題を摘出します。

(3)挙がった問題点改善点を踏まえて**目標を設定**し、どのように1ヵ月間過ごすかという**行動指針を立てます**。

4 研修内容《2回目～12回目》

第2～12回 スケジュール

9時	集合
	スポット訓練
10時	**成果の発表＆評価＆改善**
11時	読書感想 発表
	各回テーマ別の研修
12時	昼食・休憩
13時	**各回テーマ別の研修**
14時	**「行動目標」作成**
15時	行動目標スピーチ
	オリエンテーション
16時	閉所式
	解散

↓

行動目標を実行

↓

研修レポートの作成＆提出

(1)各回にテーマを設け、講義を実施します。

(2)**テーマに沿って行動した1ヵ月間を**
グループディスカッション形式で
振り返り、 成果の共通認識を図ります。

(3)各回に設定されたテーマに沿って、
新たな行動指針を作成します。

(4)各回の研修にてトップを補佐する行動指針を
決めて実行、習慣になるまで続けます。

(5) 1カ月の行動報告書と読書を1年間
継続実行します。
（A4レポート3～4枚／月）

12回の研修テーマ

歴史に学ぶ。経験に学ぶ。バラエティーに富んだ
事例に基づく講義とグループディスカッションが中心です。

01 トップ補佐

トップの指示命令を過不足なく実行する。それで安心しているから、社長からの全幅の信頼を得られないのだ。社長の指示命令の真意を深く考えよ。社長の置かれた立場、状況を冷静に探れ。社長の本心はどこにあるのか。表だけでなく裏を読め、さらに裏の裏を読め。そして実行し、あとは何もなかったかのような顔をしていよ。

02 私にないものを全部持っていた

42歳と38歳の中年おじさん2人がコンビを組んで仕事をすることになった。この2人のおじさん、只者ではなかった。1人は技術の鬼、もう1人は経営のプロ。史上最強の名コンビの物語。

03 兄者にはおれが要る

青年には腹違いの兄がいた。兄は頭の回転が早く、弁も立ち、何より行動力があった。百姓だった弟は、寡黙で実直一筋の男だった。ある時、いきなり無理矢理兄の家来にされた。史上最高の補佐役と評された弟の生き方に、あなたは何を学ぶか。

04 泥は自分で被り、社長に諫言する

中小企業の部長や課長は、下に甘い。管理者が甘いから黙って見ておれず、社長が社員をがみがみ叱らなければならなくなる。こうして社長は社員の信望を失う。元々の原因は管理者の下に対する甘さである。これはほとんどの会社に共通する病弊である。

05 社長との相性

夫婦にも相性がある。上司と部下にも相性がある。社長とナンバー２にも相性がある。相性のよい相手とは、信頼関係が作りやすい。何をしてもうまくいく。問題は相性の悪いケース。あなたが社長のことを好きでないことは、社長はとっくの昔にわかっている。

06 特別講演

『ナンバー２はかくあるべし
～意識の差は行動にあらわれる～』
講師：染谷昌克
（アイウィル代表取締役社長）

07 ナンバー２不在

会社の大小を問わず、ほとんどの社長は驚くほど社内実務ができない。実務以外の案件で多忙なためである。したがって社内はナンバー２が掌握することになる。しかしいずこもナンバー２に人なし。すぐれたナンバー２に恵まれない社長と会社はどうなるか。

08 社長を理解し、自分の血肉とする

社長は東へ行こうと考えている。ところがナンバー２は何を考えたか、全社員を引き連れて西へ向かった。行く先はアメリカと中国くらい違ってくる。そんなバカなことあるはずがない。そんなバカなことが次から次へ起こるのが中小企業の愚かさである。

09 トップの夢を体現する

トップに『三顧の礼』をもって迎えられた天才青年がいた。青年は森羅万象に通じて有能だった。トップをよく補佐し、ナンバー２に。時が経ち、トップは死の床につく。そして言う。「息子を頼む。ただし息子に器量がなければ……」

10 トップに尽くし、果たす

盲導犬は視覚障害のある主人(ユーザー)の目となり、耳となり、手脚となってユーザーの人生を助け支える。そのかわり、盲導犬は大好きな走ることや運動をやめる。おやつもやめる。毎日三食の食事も決まった量だけ。すべてがユーザー中心。なぜこんな犬らしくない生活に耐えられるのか。

11 トップに対する軽侮と驕り

茶道の大家、千利休は織田信長に仕え、豊臣秀吉に仕えた。茶頭を務め、秀吉時代はナンバー３まで昇格した。日露戦争第三軍参謀長は乃木司令官の右腕だった。乃木の全幅の信頼を得ていた。だが…。この２人の失敗と失脚に共通するものとは？

12 【最終回】 研修生スピーチ

30分間スピーチ 『卒業にあたって・・・』

※研修テーマ・順番は変更になる場合があります。

実施要領

ナンバー２養成研修

実　施　日　：■第6期　令和6年 6月 7日(金) スタート
毎月1回　金曜日開催　1日(9時30分～16時30分)を1年間12回。

実施場所　：和の音交流館 （東京都台東区上野5-4-1）

講　師　：毎回2名

研修費用　：1人　660,000円(税込)
交通費、宿泊費はご負担ください。貴社の都合で研修を中止する場合は、
支払い済みの研修費用は返却できません。

一社研修　：　人数15名以内　ご相談に応じます。

お申し込み・お問い合わせ先
Jwill アイウィル

株式会社アイウィル　〒112-0003　東京都文京区春日1-11-14
03-5800-4511　受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日休）
info@iwill-kensyu.com　メールのお問い合わせは24h受付

お申込みは本紙をFAXまたはメール添付

FAX 03-5800-4533　✉ info@iwill-kensyu.com

会社名			
住所　〒			
ＴＥＬ		ＦＡＸ	
連絡担当者名		役職	
メールアドレス			
参加者名①	(ふりがな) 氏　名	役職 年齢	男 ・ 女
参加者名②	(ふりがな) 氏　名	役職 年齢	男 ・ 女
参加者名③	(ふりがな) 氏　名	役職 年齢	男 ・ 女

Ver. 2023. 12. 22